

登録コード	F3A59130	開講年度	2026				
授業科目	ファッションデザイン（24F～）					担当教員	KIM KYOUNGOK
英文授業名	Fashion Design					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生	
講義室	繊維 1 1 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 4 Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリ対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力				繊維関連製品の生産方法，品質管理，設計，計測・評価に関する知識と能力		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業計画に沿って進める．授業を通じ，商品企画とアパレルデザインの概要，ファッションの変遷とその背景，衣服デザイン，衣服の分類，衣服に求められる特性，衣服と人体の関係，パターンの設計理論，衣服の素材選定過程，布地の立体化方法，衣服の評価方法，衣服生産の仕組み，既製衣料サイズと工業用ホデイのサイズと用途，プロダクトパターンの目的と設計方法，縫製方法，仕上げなどのファッション衣服の設計・生産工程に関する知識を得る．また，人台を用いた造形実習を通じて衣服設計過程を理解する．						
(5)授業計画	授業の流れは以下の通りである． 1～10週は，講義を通じて，ファッションの歴史を学び，衣服のデザインを通じて，機能とデザインが求められる衣服の設計・生産プロセスを学ぶ． 11週目に試験を実施する 12～15週は，衣服は人体と造形，素材の3つを総合的に考慮した衣服パターン設計実習を通じて，それらを製品にどのように結びつけるかを学ぶ．実習ではハーフサイズボディと不織布を用いる． 第1回 1.商品企画とアパレルデザイン 第2回 2.ファッションの変遷とその背景 第3回 3.衣服デザインの基礎とフォーム 第4回 4.衣服の分類．衣服に求められる特性．衣服と人体の関係 第5回 5.パターンの設計 第6回 6.衣服の素材選定 第7回 7.布地の立体化と衣服の評価 第8回 8.衣服生産の仕組み．既製衣料サイズ．工業用ホデイ 第9回 9.プロダクトパターンと縫製準備過程 第10回 10.縫製と仕上げ 第11回 試験 第12回 11.コンセプト作りおよび人台を用いた造形実習（1）：コンセプトの作成 第13回 12.コンセプト作りおよび人台を用いた造形実習（2）：造形製作 第14回 13.コンセプト作りおよび人台を用いた造形実習（3）：造形製作 第15回 14.コンセプト作りおよび人台を用いた造形実習（4）：造形完成，作品・コンセプトレポートの提出，最後の15分を授業アンケートに回答するための時間とする．						
(6)成績評価の方法	Ealpsの小テストを20%、実習での作品，レポートの内容による評価を40%、期末試験を40%で評価する．						
(7)成績評価の基準	得点率による評価基準は次の通りとする． 9 0 % 以上 秀，8 9 - 8 0 % 優，7 9 - 7 0 % 良，6 9 - 6 0 % 可，5 9 % 以下 不可． 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある						
(8)事前事後学習の内容	60時間以上の学習時間が必要である． 毎回の授業の前に，教科書や副読本で予習しておく．各回へ対応する教科書の章を以下に示す．授業後は授業内容を復習する． 第1回から3回までは，改訂アパレルデザインの基礎（日本衣料管理協会）のChaper1～4を中心に授業を行う． 1.商品企画とアパレルデザイン 2.ファッションの変遷とその背景 3.衣服デザインの基礎とフォーム 4回から10回までは，アパレル設計論アパレル生産論（日本衣料管理協会）を教科書として授業を行う． 4.衣服の分類．衣服に求められる特性．衣服と人体の関係（第1部の第2章と第3章）						

(8)事前事後学習の内容	5.パターンの設計（第1部の第4章） 6.衣服の素材選定（第1部の第5章） 7.布地の立体化と衣服の評価（第1部の第6章と第8章） 8.衣服生産の仕組み・既製衣料サイズ・工業用ホデイ（第2部の第2章と第3章） 9.プロダクトパターンと縫製準備過程（第2部の第4章と第5章） 10.縫製と仕上げ（第2部の第6章） 実習：服装造形学（三吉満智子監修，理論編I，文化出版局）のChapter6と8
(9)履修上の注意	実習時は持ち物（ハサミ，ホチキス，ホチキス針，鉛筆やボールペン，針と糸などの縫製道具）を持参する．
(10)質問,相談への対応	金宛メールでkimko@shinshu-u.ac.jpへお願いします．
(11)学生へのメッセージ	
(12)その他	
【教科書】	改訂アパレルデザインの基礎（日本衣料管理協会，2,550円）とアパレル設計論アパレル生産論（日本衣料管理協会，2,300円（税込））を教科書とする．毎週の授業では，まとめの資料を配布する．
【参考書】	西松豊典編，最新テキスタイル工学，繊維社 三吉満智子監修，服装造形学 理論編I，文化出版局